

平成 17 年度

# 事業報告

社会福祉法人 名東福祉会

〒465-0055 愛知県名古屋市名東区勢子坊2-1303

TEL (052) 702-2863

FAX (052) 701-2079

E-mail [meitoworks@meito.or.jp](mailto:meitoworks@meito.or.jp)

# 目 次

名東福祉会のミッション .....	2
事業機構 .....	4
利用者の状況 .....	6
デイケア事業 .....	11
ナイトケア事業 .....	18
地域生活支援事業 .....	20
各種委員会等 .....	24
地域交流事業 .....	32
施設・事業所一覧	

# 名東福祉会のミッション

## ● 名東福祉会のミッション（使命）

名東福祉会の使命は、東部名古屋地域の障害者ケアと、障害者ケアに関するあらゆるサービスを提供することを目的とする。

名東福祉会は障害者のクオリティオブライフを高めるため、名古屋市東部地域において、障害者のための継続的ケアを提供し、利用者の自由と自立の実現をめざす。

## ● 福祉サービスの基本的考え方

### （1）健康

- ・利用者のクオリティオブライフを最優先した福祉サービスを提供する。
- ・利用者が可能な限り健康を維持・増進することができるように支援する。
- ・提供サービスの質を向上させるためにリスクマネジメントを行う。

### （2）自己決定の支援

- ・地域に福祉団体と人の支援ネットワークを形成し、多様なプログラムによって利用者の生活を支える。
- ・生活スタイルを自ら選択することができるように支援する。
- ・利用者とその家族が設定した目標の実現に向けて多角的な支援を行う。
- ・利用者のニーズにあったプログラムの選択が可能なように柔軟な対応を実現する。

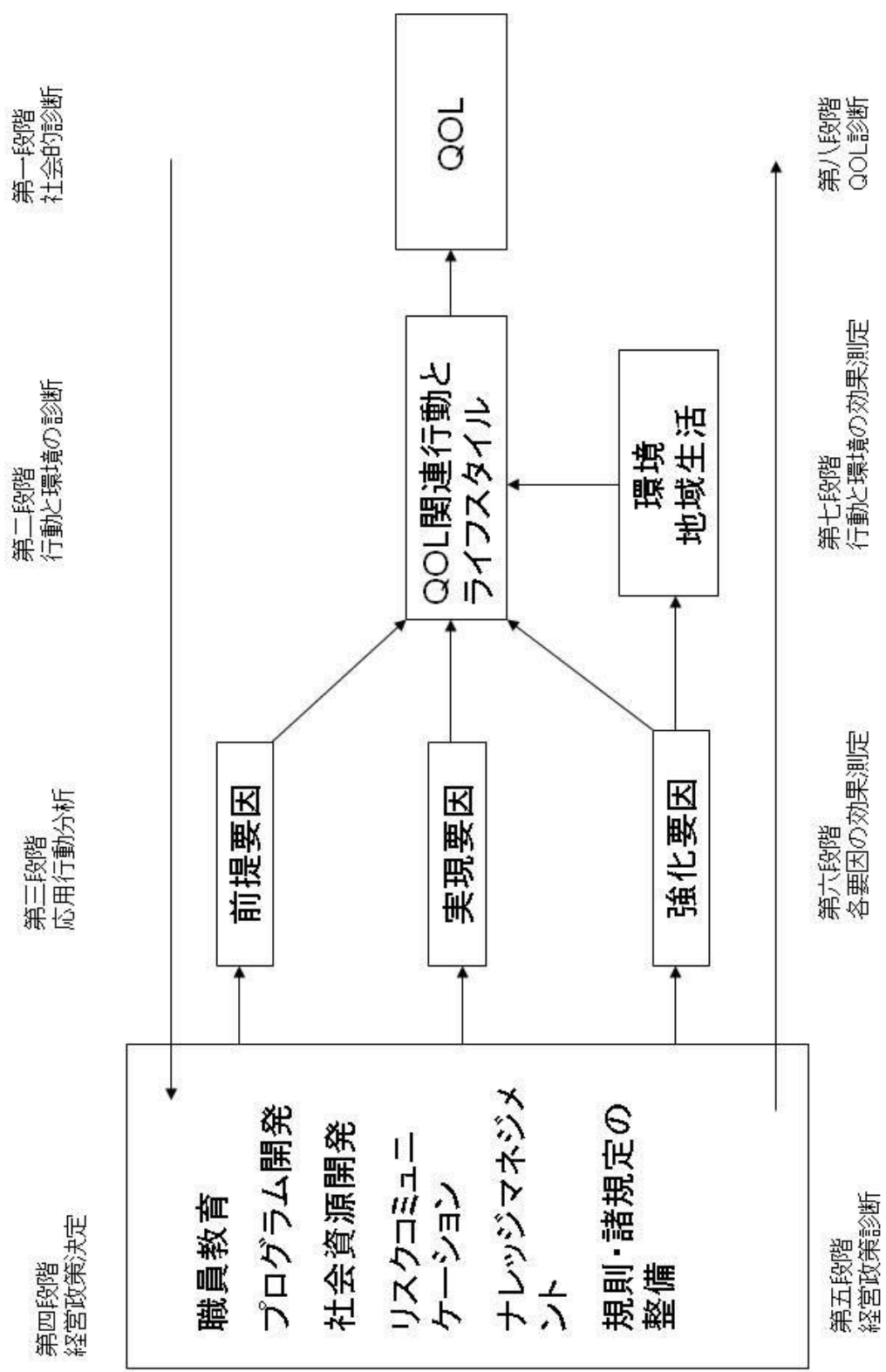
### （3）個別支援計画にもとづいた処遇

- ・施設の運営方針と利用者のニーズに基づき、ニーズを満たすために必要な個別支援計画を立案する。
- ・個別支援計画の立案にあたっては、できる限り利用者本人・利用者の家族または親権者・障害者福祉に関わる専門家とともにこれを作成し、提供されるべき個別支援計画決定し、利用者、家族、職員、地域社会相互の満足を実現する。
- ・個別支援計画によって設定された目標の達成度を常にチェックする。
- ・関係機関が利用者のニーズと支援技法に関する情報を共有し、支援内容を継続的に改善する。

### （4）提供サービスの妥当性の確保

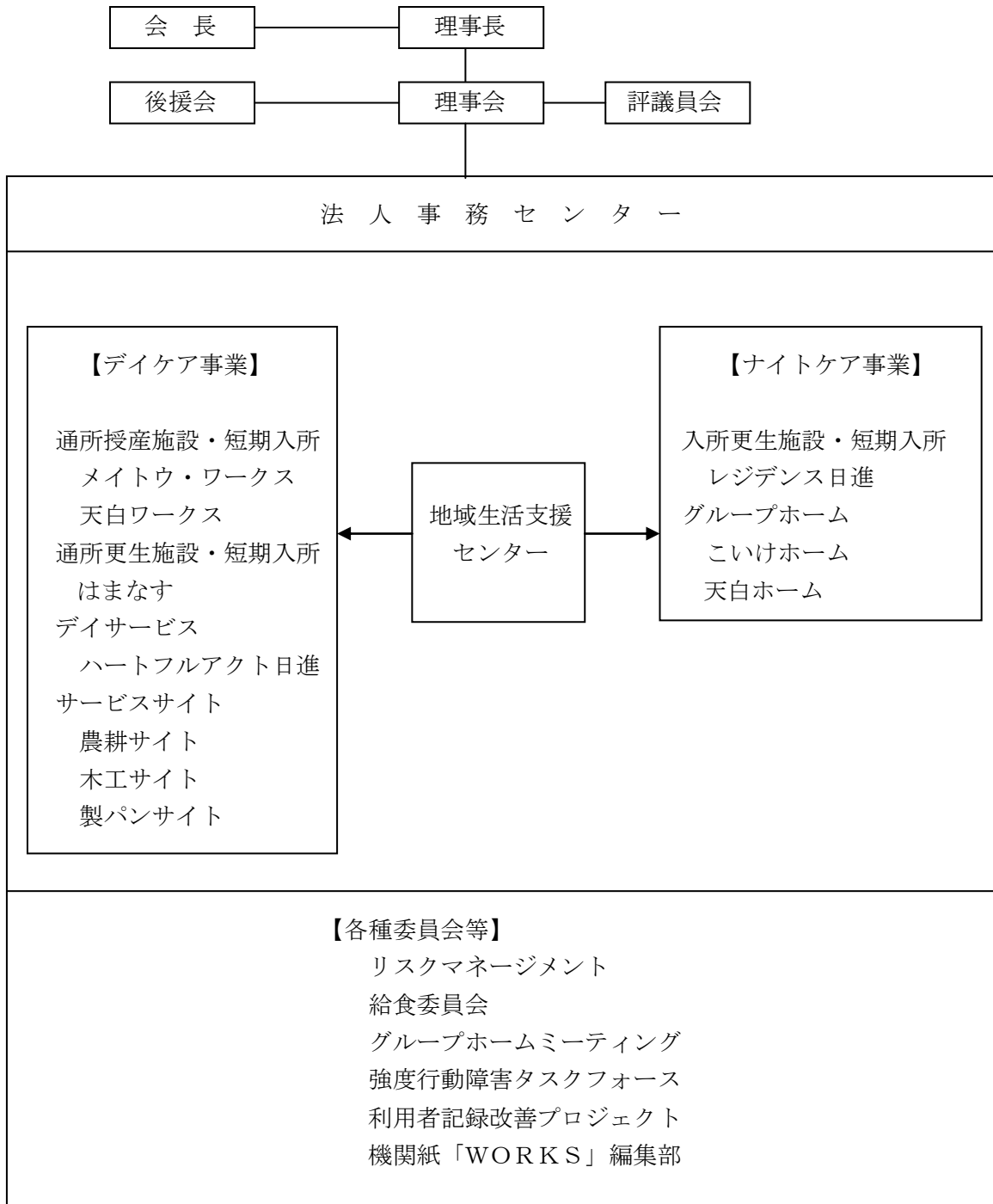
- ・利用者の権利を護るため自己チェック体制を整える。
- ・利用者とその家族がいつでも正当な権利を行使することができるようにサービスのあり方を常に見直す。
- ・情報公開に努める。

# 利用者のクオリティ・オブ・ライフの改善モデル



# 事業機構

## 1. 機構図



2. 職員構成（平成18年4月1日現在・計76名）

	理事長	会 長	事務員	所 長	支 援 員 等		コーデ ィネー ター	看護師	栄養士	医 師
					男	女				
法人全体	1	1	3	5	26	35	2	1	1	1
メイトウ・ワークス				1	5	5				(1)
天白ワークス				1	5	8				(1)
はまなす				1	4	5				(1)
レジデンス日進				1	11	16		1	1	(1)
こいけホーム				(1)		1				(1)
天白ホーム				(1)	1					(1)
地域生活支援C				1			2			

\* レジデンス日進には、上記の法人職員以外に、派遣職員が支援業務に従事

\* 各サービスサイトには、施設支援員が出向

\* ( ) は兼務

# 利用者の状況

(平成 18 年 4 月 1 日 現在)

名東福社会は現在、200 名以上の利用者の方々に諸事業の利用契約をいただいています。また、地域生活支援センターを設置し、東部名古屋地域の障害をもった方々の生活を支えています。

1. 年齢分布 \* ( ) は重複利用者の再掲

	～19歳		20歳～		25歳～		30歳～		40歳～		50歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス		1	3	4	2	3	11	8	4	2		1	39
天白ワークス	3	4	5	3	3	1	6	4	6	1		2	38
はまなす	1	2	3	2	4	3	6	2	3				26
レジデンス日進			4	1	4	3	13	7	1	2	1	3	39
こいけホーム								3		1			4
天白ホーム									4				4
法人全体	4	7	15	10	13	10	36	24	18	6	1	6	150
	11		25		23		60(1)		24(4)		7		(5)

2. 居住(出身)地分布 \* ( ) は重複利用者の再掲

	名古屋市														計
	名東	千種	守山	天白	昭和	瑞穂	中川	中村	北	東	南	緑	港		
メイトウ・ワークス	24	3	2	1	1	1	1			1					34
天白ワークス	4			18	2		1				2	9			36
はまなす	14	2	1	5	2	1									25
レジデンス日進	3	1	2	8		1	1	1	1		1	3	1		23
こいけホーム	1	1			1							1			4
天白ホーム	1		1	2											4
法人全体	47	7	6	34	6	3	3	1	1	1	3	13	1		126
	(2)		(1)	(2)											(5)

	名古屋市外											計	
	日進	瀬戸	尾張旭	春日井	三好	一宮	江南	愛西	師勝	稲沢			
メイトウ・ワークス	3		1		1								5
天白ワークス	1		1										2
はまなす			1										1
レジデンス日進	6	2	1	1		1	2	1	1	1			16
こいけホーム													
天白ホーム													
法人全体	10	2	4	1	1	1	2	1	1	1			24



### 3. 障害の程度（支援費制度程度区分）

	A（区分1）		B（区分2）		C		計
	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	11	11	7	7	2	1	39
天白ワークス	12	12	11	3			38
はまなす	16	8	1	1			26
レジデンス日進	18	12	4	4	1		39
こいけホーム		4					4
天白ホーム	2		2				4
法人全体	59	47	25	15	3	1	150
	106		40		4		

### 4. 障害の種別 \*（ ）は重複利用者の再掲

	自閉症		ダウン症		脳性麻痺		知的障害		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	6	2	2	5	1	2	11	10	39
天白ワークス	12	4	4	2			7	9	38
はまなす	11	1	3	2		2	3	4	26
レジデンス日進	15	6		1	1	2	8	6	39
こいけホーム				1				3	4
天白ホーム			1				3		4
法人全体	44	13	10	11	2	6	32	32	150
	57		21(1)		8		64(4)		(5)

	重複障害										計
	肢体		視覚		聴覚		内部		精神		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	2	2				2		2	2		10
天白ワークス	1	2	1		1	1					6
はまなす	1	3		1			1	2			8
レジデンス日進	3	2		1		1		1	3	1	12
こいけホーム											
天白ホーム	1		1		1						3
法人全体	8	9	2	2	2	4	1	5	5	1	39
	17(1)		4(1)		6(1)		6		6		(3)

5. 利用期間 \* ( ) は重複利用者の再掲

	～1年		1年～		3年～		5年～		10年～		15年～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	1	2	6	5	1		2	3	4	2	6	7	39
天白ワークス	3	1	7	6	1	2	5	3	1	1	6	2	38
はまなす		2	3	2		2	4	1	10	2			26
レジデンス日進			23	16									39
こいけホーム				1		2		1					4
天白ホーム			1				3						4
法人全体	4	5	40	30	2	6	14	8	15	5	12	9	150
	9		70(1)		8(1)		22(3)		20		21		(5)

6. 月別平均利用者数 (平成 17 年度)

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	37	33.2	34.7	34.6	33.7	33.9	35.3
天白ワークス	35	31.2	30.7	31.7	30.8	29.8	29.7
はまなす	30	22.8	23.1	23.0	21.9	20.7	21.6
レジデンス日進	40	34.2	32.8	35.2	33.5	31.8	34.7
こいけホーム	4	3.9	3.5	2.9	3.8	3.8	3.7
天白ホーム	4	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0

10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
34.7	36.3	32.5	33.5	33.9	35.0	34.2	メイトウ・ワークス
28.8	27.9	28.0	29.6	29.8	30.0	29.8	天白ワークス
21.2	22.3	22.1	22.0	22.5	20.5	21.9	はまなす
33.9	35.0	32.6	30.2	33.8	35.1	33.5	レジデンス日進
4.0	3.6	3.3	3.9	3.9	3.8	3.6	こいけホーム
3.8	3.7	3.7	4.0	4.0	3.9	3.9	天白ホーム

\* グループホームは、算出上、週末帰省日は除外

7. 通所施設時間延長サービス利用者数 (16:00～17:00・平成 17 年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス			1		1	
天白ワークス						2
はまなす	3	4			1	2
法人全体	3	4	1		2	4

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
2					1	5	メイトウ・ワークス
		1	2			5	天白ワークス
1		2		4	2	19	はまなす
3		3	2	4	3	29	法人全体

8. 短期入所事業延利用者数（平成17年度）

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	3	60	39	27	20	17	18
天白ワークス	3	40	37	44	40	27	44
はまなす	2	20	19	22	20	18	19
レジデンス日進	4	107	115	122	126	120	126

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
36	30	24	35	42	55	403	メイトウ・ワークス
39	36	33	32	40	53	465	天白ワークス
20						138	はまなす
149	144	139	130	124	144	1546	レジデンス日進

## デイケア事業

名東福祉会は、昭和 57 年にメイトウ・ワークスを開所して以来、質の高い日中プログラムの開発・展開を積み重ねてきました。障害をもった方々に充実したプログラムを選択的に利用していただけるよう、今後も事業展開いたします。

法人資源の相互利用を図り、利用者の選択肢の拡大、特に生活施設の利用者の暮らしが限られたものにならないよう留意しています。

## 1. 作業プログラム

### (1) プログラムメニュー

- 陶芸作業（メイトウ・ワークス／天白ワークス）

はし置き、一輪挿し、フリーカップ、お皿など生活を彩る陶器を製作。土に触れる段階から製作、絵付け、釉掛け、焼成後の仕上げと工程の多いプログラムのため、多くの利用者が参加しやすい。単純で分かりやすい作業内容の提示を心掛けている。

「愛・地球博」公式グッズ製作・販売

第7回フロール展 記念品（フリーカップ）1000個製作

- クッキー作業（天白ワークス）

生地作りから焼成・袋詰めまでの全工程を1日で終わることができ、利用者にとって分かりやすいプログラム。各種団体から注文をいただいている。

- ビーズ作業（メイトウ・ワークス／はまなす）

携帯ストラップ、グラスコード、キーホルダーなどのオリジナル製品を製作し、各地の福祉の店やバザーで販売。作業工程の構造化を図っている。

- 縫製作業（メイトウ・ワークス）

各種ぬいぐるみを製作。各地の保育所や子育てサークルから注文を受ける。作業工程が幅広いため選択性が高く、多くの利用者が参加しやすい。

- 下請作業（メイトウ・ワークス／天白ワークス／はまなす／レジデンス日進）

作業内容の明確な、利用者にとって分かりやすいプログラムとして全施設で提供。積極的に環境の構造化を行っている。自動車部品や水道管パーツから、インスタント飲料のセッティングまで種目は様々で、各施設複数種目を提供することで選択性に留意している。

- 農耕サイト

日進市浅田町内の法人所有地で実施。屋外での活動的な作業プログラムであることが特徴で、レジデンス利用者を中心に野菜の栽培・販売を行っている。

敷地内に生ゴミ処理機1台を設置し、食事提供で発生する残飯等をその日のうちに処理機にかけ、堆肥を生成して活用している。

- 木工サイト

農耕サイト敷地内の作業棟で実施。鍋敷や花台といった小物製品から隙間家具の受注製作まで行う。

- 製パンサイト

余分な添加物を一切加えず、国産小麦と菜種油を原料にしたこだわりのパンを製造。「安心でおいしい」パンとして、保育園や老人ホームでの給食メニューとしても好評。

(2) 年間売上状況 (単位：円)

	メイトウ・ワークス	天白ワークス	はまなす	レジデンス日進	法人全体
陶芸	1,097,731	710,935			1,808,666
クッキー		945,873			945,873
ビーズ	56,499		3,300		59,799
縫製	954,009				954,009
製パン		3,502,448			3,502,448
木工	191,990				191,990
下請け	527,988	924,343	410,822	372,697	2,235,850
Kタオル	97,780				97,780
計	2,925,997	6,083,599	414,122	372,697	9,796,415

\* 参考：平成16年度

計	3,333,842	4,862,391	283,518	320,520	8,800,271
---	-----------	-----------	---------	---------	-----------

(3) 利用者給与支給状況 (単位：円)

通所授産施設利用者を対象に、利用日数に応じて毎月支給。希望者には、特定作業への参加による出来高給の上乗せや、時給支給をしている。年2回賞与支給。

	基本給	一人当たりの平均月額	年間総額
メイトウ・ワークス	150円/日	2,805	1,825,040
天白ワークス	100円/日	2,153	1,199,940

2. レクリエーションプログラム・イベント

● 散歩プログラム (メイトウ・ワークス/天白ワークス/はまなす/レジデンス日進)

小グループでのリフレッシュ活動として、作業プログラムと並行して日常的に実施。公園での散策やドライブ、文化施設の利用など参加メンバーの好みに応じて企画。地域の方々との交流の機会ともなっている。

● バスハイク (メイトウ・ワークス/天白ワークス/はまなす/レジデンス日進)

全員参加の屋外活動。バスによる移動も、利用者にとって大きな楽しみとなっている。天白ワークス・レジデンス日進はグループに分けて実施した。

	メイトウ・ワークス		天白ワークス		はまなす		レジデンス日進	
	日	行先	日	行先	日	行先	日	行先
4月	6	浜松市動物園	22 28	リトルワールド	15	花フェスタ記念公園		
5月			2	リトルワールド			13	花フェスタ記念公園



5月		13	花フェスタ 記念公園			
6月		3	中京コココーラ 工場／中部電力 知多電力館			3 中京コココーラ 工場／中部電力 知多電力館
		10	花フェスタ 記念公園			15 セントレア
9月	13		パークアリー ーナ小牧			
11月				11	日本昭和村	16 南知多ビー 22 チランド
計		2回		6回		2回
						5回


● 一泊旅行（メイトウ・ワークス／天白ワークス／はまなす）

グループ別を実施する宿泊行事。本人分参加費は利用者負担にて実施。

	メイトウ・ワークス		天白ワークス		はまなす	
	日	行先（参加者数）	日	行先（参加者数）	日	行先（参加者数）
5月	19 20	大阪方面（13名） ・海遊館 ・明石海峡大橋				
10月			6 7	志摩スペイン村 （14名）	27 28	志摩スペイン村 （13名）
11月	10 11	大阪方面（17名） ・海遊館 ・明石海峡大橋	10 11	志摩スペイン村 （12名）		
3月					23 24	志摩スペイン村 （10名）
計		2回（30名）		2回（28名）		2回（23名）

● プール活動（メイトウ・ワークス／天白ワークス／はまなす）

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
メイトウ・ワークス	 障害者スポーツセンター内、日進運動公園内を利用。利用者の希望する参加時期、頻度に応じて実施した。また、個別活動目標を希望に応じて設定し継続的に取り組んだ。					
天白ワークス	 名東スポーツセンター・障害者スポーツセンター内を利用。利用者にゆとりをもって楽しんでもらえるように設定。					

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
はまなす	 障害者スポーツセンター内を利用。季節感を意識して全員を対象に実施した。					

● グループハイク（メイトウ・ワークス／はまなす）

小グループによる屋外活動。より個別性に配慮した楽しみ方が特徴。

	メイトウ・ワークス		はまなす	
	日	行先（参加者数）	日	行先（参加者数）
4月	25	愛・地球博（4名）		
5月	10	〃（5名）	13	デラ・ファンタジア（6名）
	25	〃（5名）		
6月	1	〃（4名）	10	愛知こどもの国（4名）
	7	〃（5名）	24	のんほいパーク（4名）
	14	〃（4名）		
7月	12	〃（3名）	14	デラ・ファンタジア（4名）
8月	3	〃（3名）		
9月	20	〃（3名）	21	日本モンキーパーク（4名）
3月			10	木下大サーカス（5名）

● クラブ活動（メイトウ・ワークス／はまなす／レジデンス日進）

<メイトウ・ワークス>

利用者の選択によるグループ活動を毎週金曜日の午後に定期的実施。ボランティアの活用により個別対応に留意した。

グループ	利用者数	活動内容
フットベースボール	7名	地域グラウンドにて実施 夏・冬季はフライングディスク・カローリング
音楽・ダンス	11名	ワークス内にて音楽療法講師を招いて実施
創作	9名	ワークス内にて描画・工作を中心に実施
ウォーキング	11名	名東スポーツセンター ウォーキングコースを利用

<はまなす>

希望利用者を対象に、スポーツ企画や図書館利用を行った。

グループ	利用者数	頻度
スポーツ	10名程度	毎週金曜日午後
名東図書館	5名程度	隔週木曜日
おもちゃ図書館	5名程度	月1回開催日



<レジデンス日進>

希望利用者を対象に、音楽療法講師を招いて、毎月第4金曜日午後には音楽プログラムを実施。

● 外部団体等の公演・季節行事（メイトウ・ワークス／はまなす）

地域サークル等の公演を実施。事前打ち合わせを通して、利用者参加型の内容を目指した。季節行事も併せて行った。

<メイトウ・ワークス>

団体名	実施日	内 容
天白りばーばんど	4/22	オリジナル曲、リクエスト曲の演奏 近隣園児等も参加
ポケットの会	7/7	絵本、歌、ペープサートなど・七夕会
めいとう朗読グループ	9/2・2/3	絵本、歌、ペープサートなど・節分会
ゆうなの木	10/7	童謡を中心としたコーラス

\*4/8 お花見会 12/22 クリスマス会 実施

<はまなす>

企 画	実施日	内 容
音 楽	月 2 回	歌・演奏・ダンス

● スポーツフェスタ 2005（法人行事）

10月12日（水）法人利用者の交流を目的として実施したスポーツイベント。名東スポーツセンターにて、利用者150名・職員50名・ボランティア20名が参加し、パン食い競争やバスケットボール、参加者全員によるダンスなどを行った。

● 家族交流会（天白ワークス／はまなす）

利用者・家族・ボランティア・職員の交流を目的として実施。

5月27日（金）はまなす : リトルワールド

9月22日（木）天白ワークス：浜名湖レイクサイドホテル／駒立巨峰ぶどう狩り

● ソフトボール大会（天白ワークス／はまなす／レジデンス日進）

5月20日（金）・9月27日（火）名障連および県福祉協会の主催する大会に参加（小幡緑地公園）。競技を通して施設間・利用者間の交流を図ることができた。

● フットベースボール大会（メイトウ・ワークス／はまなす）

11月8日（火）県福祉協会および名古屋市の主催する大会に参加（鶴舞公園陸上競技場）。競技を通して施設間・利用者間の交流を図ることができた。

- 年末パーティー（メイトウ・ワークス／天白ワークス／はまなす）  
利用者の忘年会行事として実施。メイトウ、はまなすは合同でカラオケや会食を行った（12/27）。天白ワークスは、日頃ご支援いただいているボランティアの皆さんへの感謝行事として、交流パーティーを行った（12/5）。
  
- 成人式（メイトウ・ワークス／天白ワークス／はまなす）  
該当者に合わせて、新成人のお祝い会を各施設で行っている。  
1月18日（水）メイトウ・ワークス：新成人4名  
1月28日（土）レジデンス日進：新成人3名
  
- 自動車図書館（メイトウ・ワークス／はまなす）  
西自動車図書館の巡回を利用。メイトウ・ワークスが地域の駐車ポイントになっており、地域交流の機会ともなっている。年5回実施。

## ナイトケア事業

現在、名東福祉会はナイトケア事業として、入所更生施設 1 ケ所とグループホーム 2 ケ所を運営しています。活動的な日中プログラムとは対照的に、落ち着いた生活環境の設定に重点を置いています。

入所施設は 10 名前後のユニット単位で支援が行われ、利用者ひとりひとりの生活リズムを大切にしています。

グループホームは、男女別に設置しています。

平成 19 年度には、ケアホームの設置を目指しています。

## 1. 生活モデル

利用者ひとりひとりの生活リズムの安定を図るため、生活モデルを設定した。入所施設においても毎日、個別の入浴機会を設けて快適さを求めた。

時間	レジデンス日進	こいけホーム	天白ホーム
6:00	起床・朝食	起床・朝食 出勤・通所	起床・朝食 通所
9:00	日中活動へ出発 (法人施設・ サービスサイト等)		
12:00	帰着・昼食 日中活動へ出発		
15:00	帰着	帰着	帰着
18:00	入浴 夕食 入浴・洗濯	夕食 入浴・洗濯	入浴・洗濯 夕食 入浴・洗濯
22:00	就寝	就寝	就寝

## 2. 各種支援サービス等

### (1) ユニット単位の支援

4名(グループホーム)～10名(レジデンス日進)のグループ単位での生活支援を行うことで、個別ニーズの充足に留意した。

### (2) 金銭等の管理

レジデンス日進利用者の財産管理について、「施設利用者の年金等取扱要領」に従い、適正・確実を旨として行った。グループホームについては、個別出納帳により職員が管理し、併せて所長・家族の収支確認を行った。

### (3) 健康管理

医療機関への通院に配慮し、必要に応じて個別に付き添い支援を行った。

### (4) その他

七夕、クリスマス会などの季節行事や利用者の誕生日会を各事業所にて行った。レジデンス日進では、たけのこまつり(4/29)、餅つき(1/28・成人祝い)も実施。

## 地域生活支援事業

名東福祉会は発足当初から、地域に在住する障害をもった方々の支援を視野に入れた活動を行ってきました。平成 14 年度からは名古屋市の委託を受け、メイトウ・ワークス内に「名東区障害者地域生活支援センター」を設置しています。

今年度は障害者自立支援法が制定されました。今後は制度改革の動きに合わせて、相談事業、サービスコーディネート事業の重要性はますます高まります。

支援センターでは、相談に訪れる方々の様々なニーズをサービスに結びつけるばかりでなく、地域社会の資源開発、生活支援ネットワークの確立を目指します。

### 1. 新規相談者の状況

身体障害者からの相談が増え、障害種別の偏りが軽減されました。成人者からの相談が昨年度と変わらないのに対し、児童の相談は減少傾向がみられます。また、区外、市外からの転入や県外への転出・移動にあたっての相談を受け、他市町村支援センターと連携し、全国的なネットワークを活用しました。

#### (1) 居所

	名古屋市					愛知県内		愛知県外		不詳	計
	名東区	千種区	西区	その他	計	日進		神戸	青森		
人数	26	1	1		28	1		1	1		31

#### (2) 障害種別

	児童(幼児～学齢期)					成人					不詳	計
	～6歳	～12歳	～15歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	60歳以上			
知的障害	3	2			3	2	1		1		12	
身体障害					3	2	1	4	1	1	12	
精神障害											0	
重複障害	知的・身体	1	1	1		2	1				6	
	知的・精神										0	
	身体・精神										0	
手帳なし・不詳				1							1	
小計	3	3	1	2	6	6	3	4	2	1	31	
合計	9					21					1	31

#### (3) 性別・年齢

	児童(幼児～学齢期)					成人					不詳	計
	～6歳	～12歳	～15歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	60歳以上			
男	3	2	1	1	3	3	2	2	2	1	20	
女		1		1	3	3	1	2			11	
小計	3	3	1	2	6	6	3	4	2	1	31	

#### (4) 相談内容(複数カウント)

	児童(幼児～学齢期)					成人					不詳	計
	～6歳	～12歳	～15歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	60歳以上			
居宅介護(注 <sup>1</sup> )	4	4	1		4	4	1	4	2	1	25	
実習依頼											0	
日中活動先(注 <sup>2</sup> )				1	2	2		2			7	
就労相談				1	2	2	1	1	1		8	
余暇支援						1	1				2	
その他(注 <sup>3</sup> )				1	2	4	3	4	2	1	17	
計	4	4	1	3	10	13	6	11	5	2	59	

(注<sup>1</sup>) 居宅介護 居宅サービス全般(ヘルパー利用、デイサービス、短期入所)

(注<sup>2</sup>) 日中活動先 高等学校卒業後の進路相談を始め、就学児童の長期休暇中の生活支援も含む

(注<sup>3</sup>)その他 ホームヘルプを含まない生活全般の支援、障害者手帳のない方への生活相談、配食サービス、医療機関紹介等

## 2. 相談受付の状況(新規相談も含む)

相談については、訪問相談242件、面談相談236件、実相談者数62名という状況でした。主な相談者は、保護者が最も多いものの、障害者本人、支援費事業者、医療関係者、高齢者ケアマネなどからの相談も増えています。相談内容は、ホームヘルプの利用方法や利用にあたってのクレーム、様々なサービスの情報収集を求められることが多いですが、専門的な機関からの的確な指示や関係機関の連携を必要とするケースや生活を安定させることが難しく相談が長期化しているケースも目立っています。

### (1)障害種別

	児童(幼児～学齢期)				成人					不詳	計
	～6歳	～12歳	～15歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	60歳以上		
知的障害	5	4		4	6	6	3	2	2		32
身体障害				1	3	2	2	4	2	1	15
精神障害											0
重複障害	知的・身体		3	3	1	2	3				12
	知的・精神						1	1			2
	身体・精神										0
手帳なし・不詳				1							1
小計	5	7	3	7	11	12	6	6	4	1	62
合計	22				39					1	62

### (2)性別・年齢

	児童(幼児～学齢期)				成人					不詳	計
	～6歳	～12歳	～15歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	60歳以上		
男	3	6	2	2	7	7	6	4	3	1	41
女	2	1		5	4	5	1	2	1		21
小計	5	7	2	7	11	12	7	6	4	1	62

### (3)相談内容(複数カウント)

	児童(幼児～学齢期)				成人					不詳	計	
	0～6歳	7～12歳	13～15歳	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上			
居宅介護	ヘルパー	5	6	2	2	5	4	3	3	3	1	34
	デイ	2	3			4	2		4			15
	ショート						3			1		4
生活基盤の安定	進路				3							3
	就労				1	3	3	3	1			11
	日中活動				1	5	4	2	3			15
	余暇活動		3			1	3	2	1	1		11
	家族関係	3	1		3	4	4	4	2	1		22
	医療機関					2	1	1	2	2		8
	権利擁護							1				1
住居					1	1	1		1		4	

	療育	2										2
困難ケース	1		1	1	1	2	1	2	1			10
その他(注)				1		1	1	1	1	1	1	6
計	13	13	3	12	26	28	19	19	11	2		146

(注)その他 障害者手帳のない方への生活相談、自立支援配食サービスなど

#### (4)相談業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問	9	20	22	23	18	20	16	25	20	20	19	30	242
外来	23	15	20	18	21	27	22	18	16	18	12	26	236
研修会等			1	2		1	1	2	1		1	2	11
調整会議	1		5	1	2	1		2	4	1	5	2	24

### 3. 関係機関との連絡調整会議

会議名	実施日	構成メンバー	内容
名古屋市障害者地域生活支援センター連絡会	5/23、7/28、9/29、11/24、1/19、2/27	名古屋市(障害福祉課・障害施設課)、16区支援センター	障害程度区分判定等試行事業及び支援センターへの委託、支援センター事業の運営方針等、自立支援法関連、モデル事業、
支援センター東ブロック連絡会	6/21、8/22、9/29、11/18	千種区・中区・昭和区・名東区の支援センター 名古屋市(障害施設課)	「支援費制度にかかる事業所向け研修会」開催内容の検討と開催
千種区・名東区支援費関係事業者連絡会	6/17、7/6、7/22、9/21、10/12、11/11、12/9、2/20、3/3、3/22	千種区・名東区 民生課、居宅支援事業者、施設、関係団体、身体・知的障害者相談員、支援センター	「事業所展」開催とパンフレット作成に伴う準備会、実行委員会の開催 「事業所展」の開催、パンフレットの発行 全体会の開催
めいとう福祉まつり実行委員会	11/24、12/13、2/10、2/26、3/9	区内の障害種別ごとの当事者団体・家族会・施設、民生委員、ボランティア団体、民生課、社会福祉協議会	めいとう福祉まつりの企画検討と開催
名東区手をつなぐ育成会例会・懇談会	5/31、7/8	名東区手をつなぐ育成会、民生課、支援センター	例会での支援センター紹介、事業所パンフレット案 防災について(消防署)
いきいき介護フェア	11/27	名東区介護保険関係事業者連絡会、名東区在宅介護支援センター	福祉用具の展示・相談、在宅介護よろず相談、健康体操、訪問入浴車の展示

### 4. 職員研修

研修名	実施日	主催	内容
平成17年度主任中堅職員研修	7/12、8/30、10/4、11/25、12/20	名古屋市、名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会	障害者ケアマネジメント研修
平成17年度障害者ケアマネジメント従事者養成研修	2/15、2/16、2/21、2/22、2/23	名古屋市、社福)名古屋市総合リハビリテーション事業団	ケアマネジメント概論、ケア計画作成演習、社会資源活用演習
認定調査員研修	3/16	名古屋市(障害施設課・障害福祉課)	障害者自立支援法にかかる障害程度区分認定調査員研修
身体障害者更生施設説明会	2/28	名古屋市総合リハビリテーションセンター	センター見学会、更生施設説明会、意見交換会



## 各種委員会等

名東福社会には、施設横断的な委員会が機能別に設けられており、利用者に提供するサービスの質の向上に努めています。新事業体系移行を控え、法人各事業が連携したサービス提供をするため、法人単位の情報共有は必須と考えています。

## 1. リスクマネジメント

### (1) 目的

利用者個々のニーズに最大限応える上で、サービス提供上のリスク管理は必要不可欠であるという認識に立ち、法人単位でのリスクマネジメントを実施。リスクマネージャーを1名設置している。

リスクマネージャーは全職員から「ヒヤリ・ハット・事故報告書」を収集し、支援現場でのリスクの把握・法人全体での共有・分析とリスク軽減に努めている。単に事故防止に留まらず、安全で質の高いサービス提供を目指した職員教育や、苦情解決・サービス評価などの取り組みと連動したシステム作りが必要である。

### (2) 構成

リスクマネージャー 1名

### (3) 活動報告

平成17年度中に提出された「ヒヤリ・ハット・事故報告書」の件数は、以下の通り。

報告区分	ヒヤリ	ハット	事故	苦情	合計
		改善提案			
	105	15	167	8	295

施設におけるリスクマネジメントは、単なる「事故への対処」だけでなく事故を起こさないための予防的対応・体制作りが重要である。利用者の安全で質の高い生活を保障するために、支援者の業務に潜むリスクを予測しなければならない。リスクを回避するために、より多くの報告によるデータ収集が不可欠でもあり、今後も一層、法人職員全体の意識化を図らねばならない。

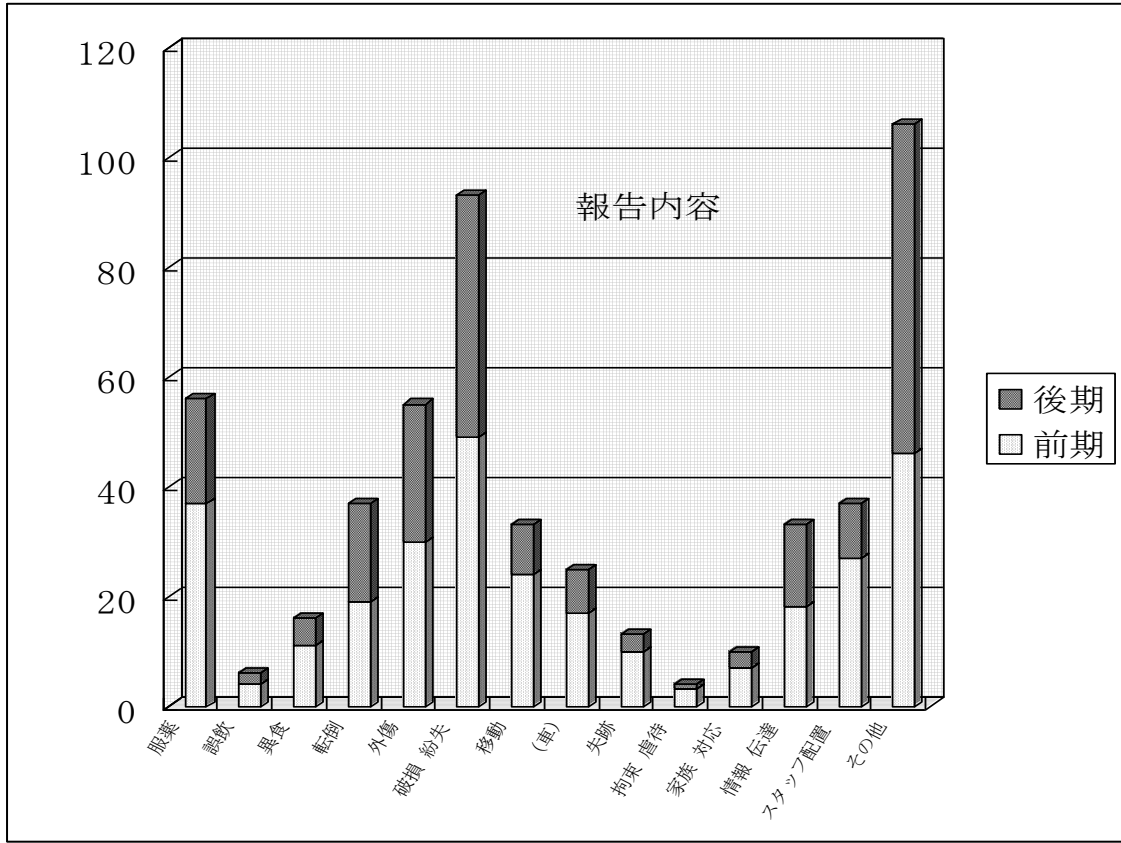
	レジデンス	メイトウ	天白	はまなす	事務センター	合計(件)
前期	124	7	21	41	1	194
後期	43	15	15	34	1	108
合計	167	22	36	75	2	302

\*重複報告もカウント

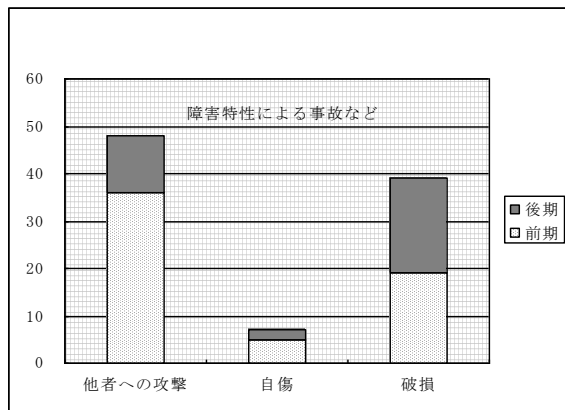
### ● 報告内容

報告を内容別に見ると、以下の内訳となる。

「破損・紛失」「怪我(転倒・外傷)」「服薬」が突出しているのは、事故報告として当然の結果と思われるが、環境整備や利用者情報の共有により防ぐことができるケースも少なくないことが、報告書から伺うことができる。「強度行動障害の問題行動」が限られた利用者中心となっており、タクスフォースと合わせて、重点課題になっている。

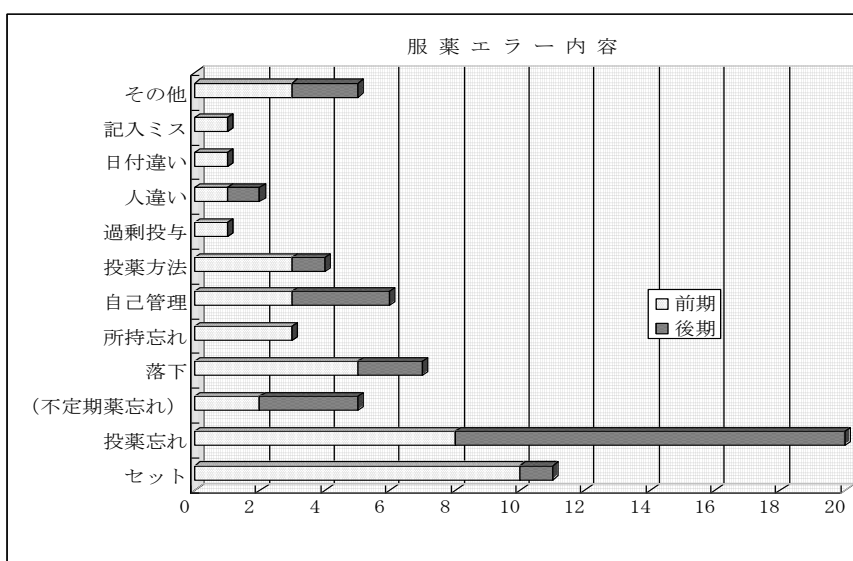


強度行動障害等の問題行動が起因すると思われる報告 (重複報告)			
	他者への攻撃	自傷	破損
前期	36	5	19
後期	12	2	20
合計	48	7	39



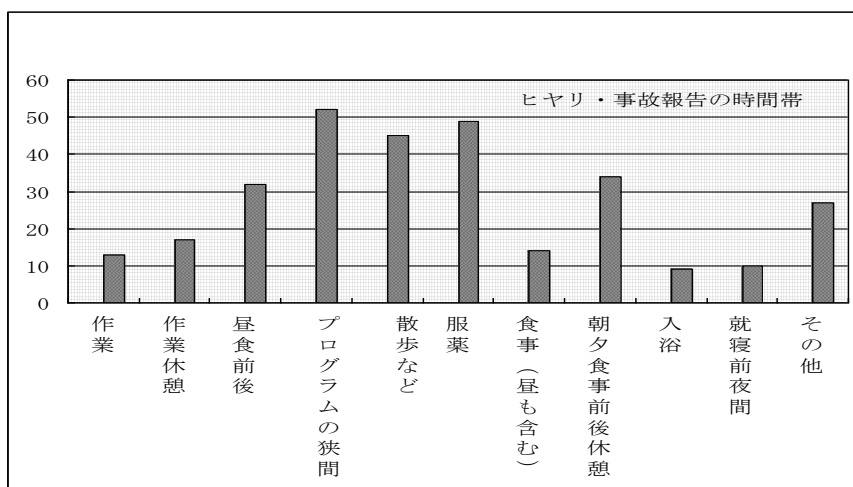
また、「移動・車」も要注意領域と言える。各施設、日常的に外出プログラムを提供しているが、車の大型化が進み運転技術が必要になってきた。特にハイルーフ車の天井を擦るウツカリ事故が下半期に頻発した。運転上の小さなハプニングは予想以上に利用者の不安を招くばかりか、人命に関わる事故に発展する可能性もある。

また、服薬支援は施設サービスの主要業務のひとつであり、健康に直接関わるデリケートな領域である。上半期に目立ったセッティングエラーは、システム改善が施されて下半期に減少したが、投薬忘れは相変わらず起きており、マニュアルに沿って繰り返しチェックしていくことが肝要と思われる。



● ハイリスクな時間帯

時間帯という視点から見てみると、ヒヤリや事故は「散歩」「服薬」「自由時間（休憩やプログラムの狭間）」に多いことが分かる。



「散歩」については、屋外での活動的な内容となることが多く、自然とリスクが高くなるプログラムである。ハイリスク＝活動の制限・縮小という短絡的な発想は持つべきではないが、日常的に提供しているプログラムとして、留意していきたい。「休憩・自由・プログラムの狭間」時間については、「作業」時間などと比べ、利用者の居場所や動きが不規則であると共に、トイレ介助などで職員が手薄になることも要因と考えられる。何をすることが明確でないことに起因するトラブルも想像され、環境の整備や個別の検討が必要と言える。

入浴時の報告は数こそ少ないが、てんかん発作で転倒し大怪我につながることもあり、十分注意したい。また、傷や衛生確認のためボディーチェックの大事な時間帯でもあり、着衣入浴介助のある利用者だけでなく支援が必要である。

● 支援現場での対応のあり方

報告された内容について、各施設でとった対応の内訳が下の表である。

対	応	295 件中
打ち合わせによる報告・周知		280 件
環境整備	ハード改善(物品移動など)	10 件
	マニュアル・システム変更	47 件
	掲示による意識化	3 件
法人・レジデンス全体会での討議		4 件

職員間で報告し、情報を共有することで、同じような事故を重ねて起こすことを防ぎ、重大な事故に至ることを予防する取り組みが一番多かった。具体的に物品を移動したり掲示による意識化、利用者の配置を変えるなどのシステム変更による対応がなされた。また、緊急・重点課題と思われる事項については、全体会で討議され、共有認識を高めた。

全 体 会 の 討 議	
・薬について	
・てんかん発作の対応について	
・食事・のど詰まりについて	
・みる（観る・見る）ということについて	

● 「ヒヤリハットニュース」と「ヒヤリハットASP」導入

報告が一方的なものとならないよう、リスクマネージャーとしてのコメントや改善要請を各現場に対して行ってきた。上半期はヒヤリハット報告を各施設に無記名で配布し、打ち合わせで報告してもらった。併せて「ヒヤリハットニュース」を不定期に発行した。

7月よりインターネットによるヒヤリハットASP（アプリケーション・サービス・プロバイダー）を導入し、支援現場でのリスクをいち早く共有できるようになった。しかし、ヒヤリハットASP事業は、個人情報秘守の立場から誰もが閲覧できる環境にない。今後はヒヤリハットニュースと合わせて情報共有を進めていきたい。

● 今後に向けて

リスクマネジメントは「情報の共有」が肝要である。ひとつのヒヤリ・ハット・事故データを、個人レベルに留めないのはもちろんのこと、支援現場内に留まらず、法人全体に周知することで同様のミスを防ぎ、解決策を相互に検討し合えるような環境整備が必要である。ミスを隠すのではなく、繰り返さないために積極的に情報提供するような発想を共通認識としなければ、リスクマネジメントは成立しない。ヒヤリハットASPと共に利用者情報ASP(フェイスシートの作成)の整理を進め、再発事故防止に努めたい。

2. 給食委員会

(1) 目 的

利用者の健康管理・安全衛生管理の観点から給食サービスの内容をチェックし、委託業者との連携を密にし、法人全体の質の向上を目指す。

(2) 構成

各施設職員 1 名（法人栄養士を含む）

(3) 活動報告

毎月 1 回実施

（4/13、5/11、6/8、7/13、8/10、9/14、10/19、11/16、12/14、1/25、2/14、3/14）

- ・ 各月検食表チェック
- ・ 委託業者との折衝、交渉
- ・ 各施設での提供方法検討
- ・ 利用者の個別対応
- ・ 害虫駆除業者導入

**3. グループホームミーティング**

(1) 目的

2 箇所のグループホームの運営状況や課題を法人単位で把握・検討することにより、サービス内容の標準化や他施設との連携強化を目指す。

(2) 構成

各グループホーム管理者および世話人

(3) 活動報告

毎月 1 回第 4 金曜日（原則）にミーティングを開催

4/22 利用者懇談会

本人や家族を対象に防災時の緊急時対応を確認

5/27 服薬管理、運営経費説明

6/24 こいけホームの設備点検

- ・ 生活環境
- ・ 設備管理
- ・ 書類管理
- ・ 現金管理

7/29 天白ホームの設備点検

- ・ 防災設備、転倒防止箇所点検
- ・ 共有部分の設備配置（暮らしやすさ）
- ・ G ホーム全国大会報告

8/31 制度改革に伴う法人経営方針の説明

防災訓練について

- ・ 各ホーム単位での避難訓練
- ・ 災害用伝言ダイヤルの利用

9/29 利用者の一日の流れの確認

10/26 世話人支援内容の確認（天白ホーム）

- 11/30 世話人支援内容の確認（こいけホーム）
- 12/22 制度改革動向説明（グループホーム・ケアホーム）
- 1/30               "               （利用者負担・事業再編）

生活上の領域別に、課題の把握と改善提案を行う。8名のホーム利用者のうち5名が法人内の施設に通所しており、連携した支援が強化された。

災害発生時の緊急対応を複数回に渡って設定し、本人や家族も交えた防災懇談会の開催、各ホームの設備点検を実施した。

今後も、支援現場のニーズに即したテーマ設定をし、グループホームの抱える課題を法人全体で考え、サポートできる体制を目指したい。

#### 4. 強度行動障害タスクフォース

##### (1) 目的

自閉症者等、強度行動障害を持つ利用者に対し、安心した地域生活をおくれるよう生活環境の提言、支援者の育成を目指す。

##### (2) 方法

はまなすを、支援プログラム構築・検討施設と位置づけ、TEACCHプログラムに基づいた空間とスケジュールの設定を行う。各利用者に対応した支援プログラムの検討・提供により、支援方法の蓄積と地域へのサービス提供を行う。

18年度以降は、中京大学久野教授との連携により、行動療法的手法を取り入れ、サービス開発、支援者育成、支援技術の向上を目指していく。

##### (3) 活動報告

###### ● はまなす実施

平成16年5月より自閉症者対応の作業室をはまなす内に設置し、パーテーション等による個別の支援空間を設定。視覚的刺激的の低減を目指すと同時に、個別スケジュールを設定したサービスを提供。

###### 利用状況

自閉症対応作業室利用者 6名  
 個室対応利用者 1名

###### ● タスクフォースレター発行

自閉症者支援に関する情報の提供を目的とし、定期的に法人内部に向け発行。

###### ● 相談・広報活動

平成17年7/4 名東区障害者地域生活支援センターサービス調整会議  
 12/7                                       "  
 12/9 第6回愛知県知的障害関係施設職員研究大会にて研究発表

## 5. 記録改善プロジェクト

### (1) 目的

障害者福祉制度改革の流れに伴い、多岐に渡るサービスマネジメントが必要となることを想定し、法人内での利用者情報の共有を図るためのシステム構築を目指す。

### (2) 構成

理事長・担当所長 1 名・担当職員 2 名

### (3) 活動報告

平成 17 年 7 月 法人事業所諸記録調査

平成 17 年 8 月 第 1 回ミーティング（利用者情報の法人内共有について）

平成 17 年 9 月 「利用者情報カード」の作成・各事業所間での活用開始

平成 17 年 10 月 第 2 回ミーティング

（ASP を利用した利用者情報の共有について）

レンタルサーバーを利用した情報共有システム製作

（平成 18 年 4 月）「利用者情報カード」の Web 上共有開始

## 6. 機関誌「WORKS」編集部

利用者・職員・後援会員・関係団体等に配布している法人機関誌の編集・発行を担当している。福祉業界の時事レポートから法人内のトピックスまで、法人関係者からの寄稿を募っている。

No.	発行月	テーマ
100	4 月	100 号記念号 法人主催講演録 「やさしい社会、つめたい社会」講師：渡辺哲雄 氏
101	8 月	個別支援 「今後求められる個別支援計画のあり方」「自閉症者への個別支援」



## 地域交流事業

名東福社会の運営する各事業所は、地域住民の皆さんにとっても価値の高い存在であることを目指しています。ボランティアの方々に留まらず、誰もが気軽に利用できる地域センター的な役割を担っていきたいと考えています。

## 1. イベント（レジデンス日進）

地域に理解され、求められる施設として成長していくためには、地元とのつながりを広げて行くことは継続的な課題である。17年度は地域の方々のご協力をいただき、夏まつり（7/24）では、医療機関院長を中心にメンバー構成されたドクターズバンドの演奏、冬まつり（2/11）では、地元地区のお囃子公演（2/20）などを行い、利用者も楽しむことができた。

## 2. 陶芸教室（メイトウ・ワークス）

### ● 出張陶芸教室

名古屋市厚生院（月1回）へ職員が利用者とともに出張し、陶芸を通じて高齢者との交流を図った。

### ● 地域陶芸教室

地域の子ども会や保育園、高齢者などが施設内の陶芸室を利用。

## 3. ボランティア受け入れ状況

利用者ひとりひとりのニーズに応じたサービスの提供を進めるため、地域ボランティアの受け入れを積極的に行った。より多くの方々に来所していただくことは、利用者との関わりは基より、地域に開かれた施設であるために必要不可欠であると考えている。

天白ワークスには、月1回、ヘアカットのボランティアが来所している。

	活動内容	年間延人数
メイトウ・ワークス	作業やレクリエーション、イベントのサポート	430
天白ワークス	〃	380
はまなす	〃	132
レジデンス日進	ユニット内の清掃・イベントのサポート	400

## 4. その他

### ● 「ハローネットワーク」の発行（メイトウ・ワークス）

ボランティア情報誌として隔月250部を発行。地域ボランティアの募集・法人施設の活動の紹介を目的としており、町内への回覧・地域店舗での掲示・来所ボランティアへの送付を行った。

### ● 施設の貸し出し（メイトウ・ワークス／レジデンス日進）

地域の町内会や子ども会、高齢者グループ、子育て世代の母親の勉強会を中心に、施設の空きスペースを開放。両施設合わせて年間延130団体ほどが利用した。

### ● 実習学生等の受け入れ（メイトウ・ワークス／天白ワークス／はまなす）

各施設、中学校からの職場体験実習や大学からの介護体験、専門学校からの現場実習の受け入れを随時行った。



## 施設・事業所 一覧

社会福祉法人 名東福祉会 (昭和 56 年 8 月 認可)

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303

TEL (052)702-2863 FAX (052)701-2079

種 別	名 称	住 所	電話番号	FAX 番号	E-mail
知的通所授産	メイトウ・ワークス	〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303	(052)702-2863	(052)701-2079	meitoworks@meito.or.jp
	名東区障害者地域 生活支援センター	同 上	同 上	同 上	同 上
知的通所授産	天白ワークス	〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327	(052)804-5487	(052)804-5416	tenpaku@meito.or.jp
知的通所更生	はまなす	〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911	(052)704-7551	(052)704-7552	hamanasu@meito.or.jp
知的入所更生	レジデンス日進	〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4	(052)805-1003	(052)805-1004	nissin@meito.or.jp
	法人事務センター	同 上	同 上	同 上	同 上
知的デイサー ビス	ハートフルアクト 日進	同 上	(052)805-1012	同 上	同 上
知的グループ ホーム	こいけホーム	〒465-0047 名古屋市名東区小池町 468-1	(052)777-8385	(052)777-8385	koike-h@mocha.ocn.ne.jp
知的グループ ホーム	天白ホーム	〒468-0021 名古屋市天白区平針字大根ヶ越 141-3	(052)807-1578	(052)807-1578	tenpaku-h@muse.ocn.ne.jp